

福岡県森林・林業の動向

— 平成25年度 林業白書 —

福 岡 県

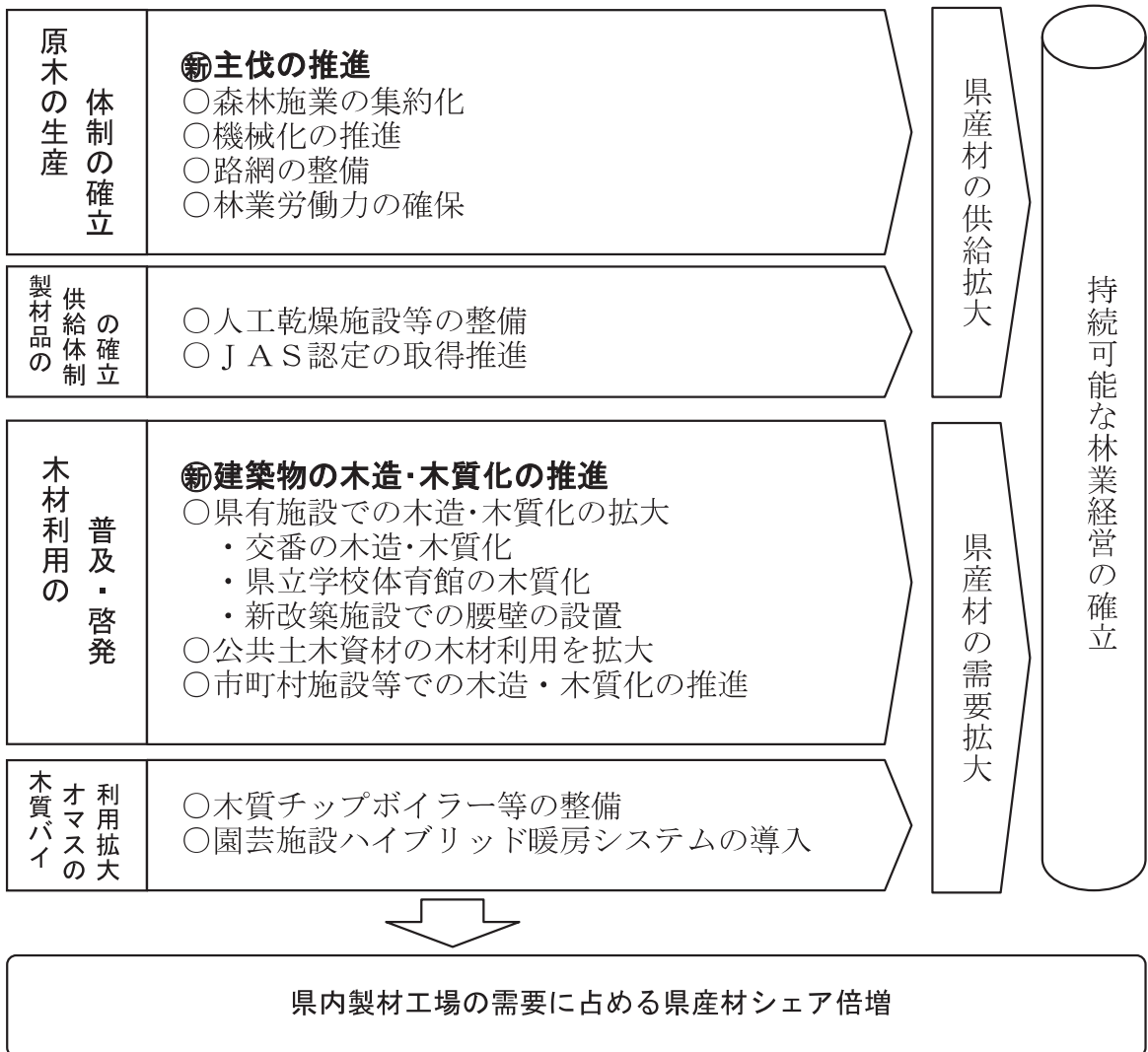
特集

**持続可能な林業経営の確立に向けて
～県産材の供給拡大と需要拡大の取組～**

利用期を迎えた人工林が7割に達している中、持続可能な林業経営の確立を図るため、森林の世代サイクルの回復や木材需要の拡大に向けた総合的な対策に取り組めます。

これらの取組により、平成28年度には県内製材工場の需要に占める県産材シェアの倍増を目指します。

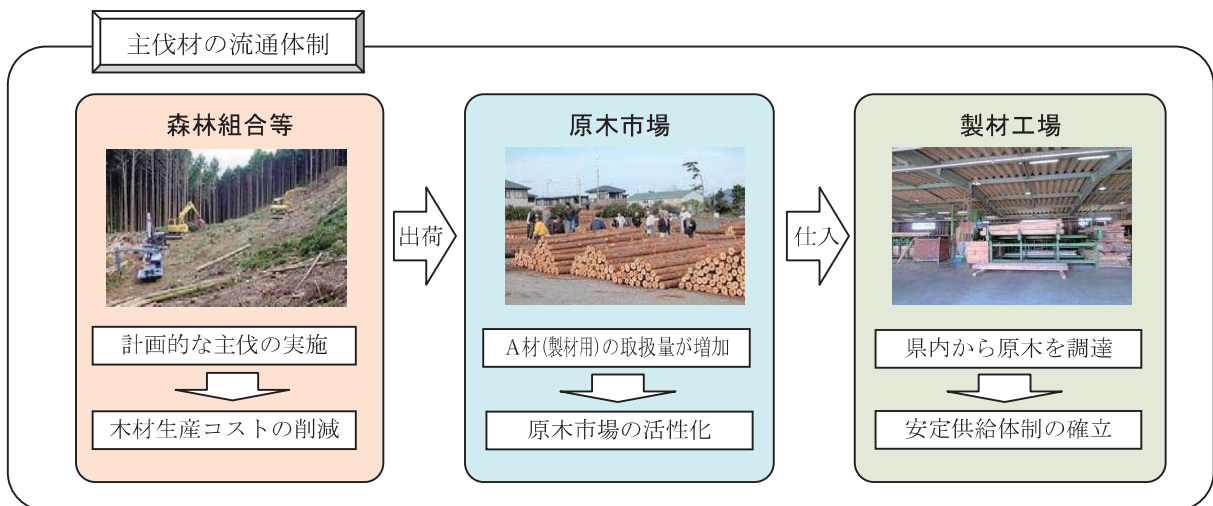
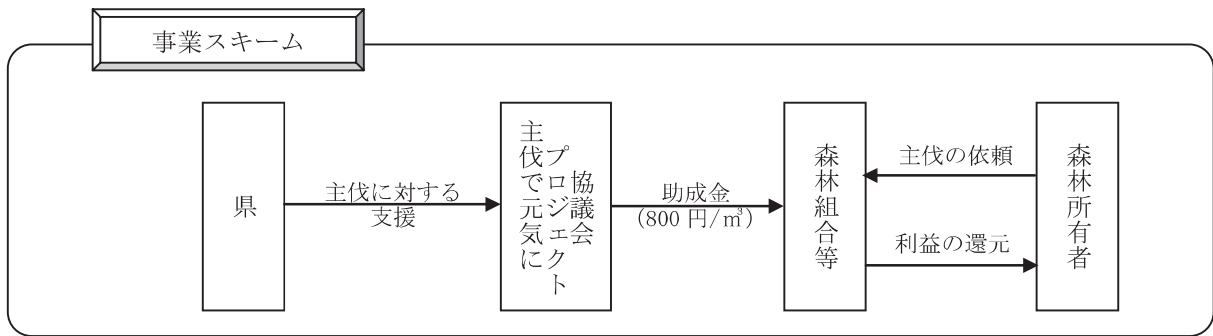
総合的な対策



主伐の推進

1 主伐経費の一部を助成

県産主伐材のマーケットを戦略的に形成するため、流通ルートを確認するとともに、均質な県産材の供給拡大を図るため、森林組合や民間事業者が行う主伐に対して、経費の一部を助成し森林所有者に利益を還元することにより、主伐を推進し、森林の世代サイクルを回復します。



2 低コストな造林・育林技術を普及

主伐後の再造林コストの負担軽減を図るため、コンテナ苗を活用した低コストな技術を普及します。

コンテナ苗とは

マルチキャビティコンテナと呼ばれる専用の容器を使った新しい技術で育苗された苗木のことです。植栽時期を選ばず、従来の裸苗に比べて活着や初期成長が良好で、作業効率も2倍とされています。

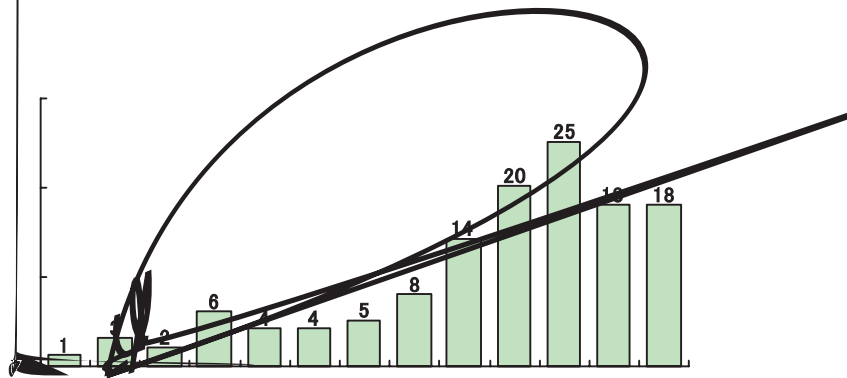
日本では、まだ普及し始めたばかりの苗木であり、従来の裸苗より割高ではありますが、経費削減の有効な手段として注目されています。



コンテナ苗 従来の苗



3 人工林の7割以上が利用期を迎える



摘要

：平成25年度実績（農山漁村振興課調へ）
：平成23年度実績（2013年森林・林業統計
要覧：林野庁）

平成26年4月1日現在（団体指導課調へ）
平成24年3月末現在（平成23年度森林
総合統計：林野庁）
平成25年3月末現在（団体指導課調へ）
平成24年3月末現在（平成23年度森林
総合統計：林野庁）
3月末現在
木材統計：農林水産省統計部）

績（平成25年木材統計：農林水産

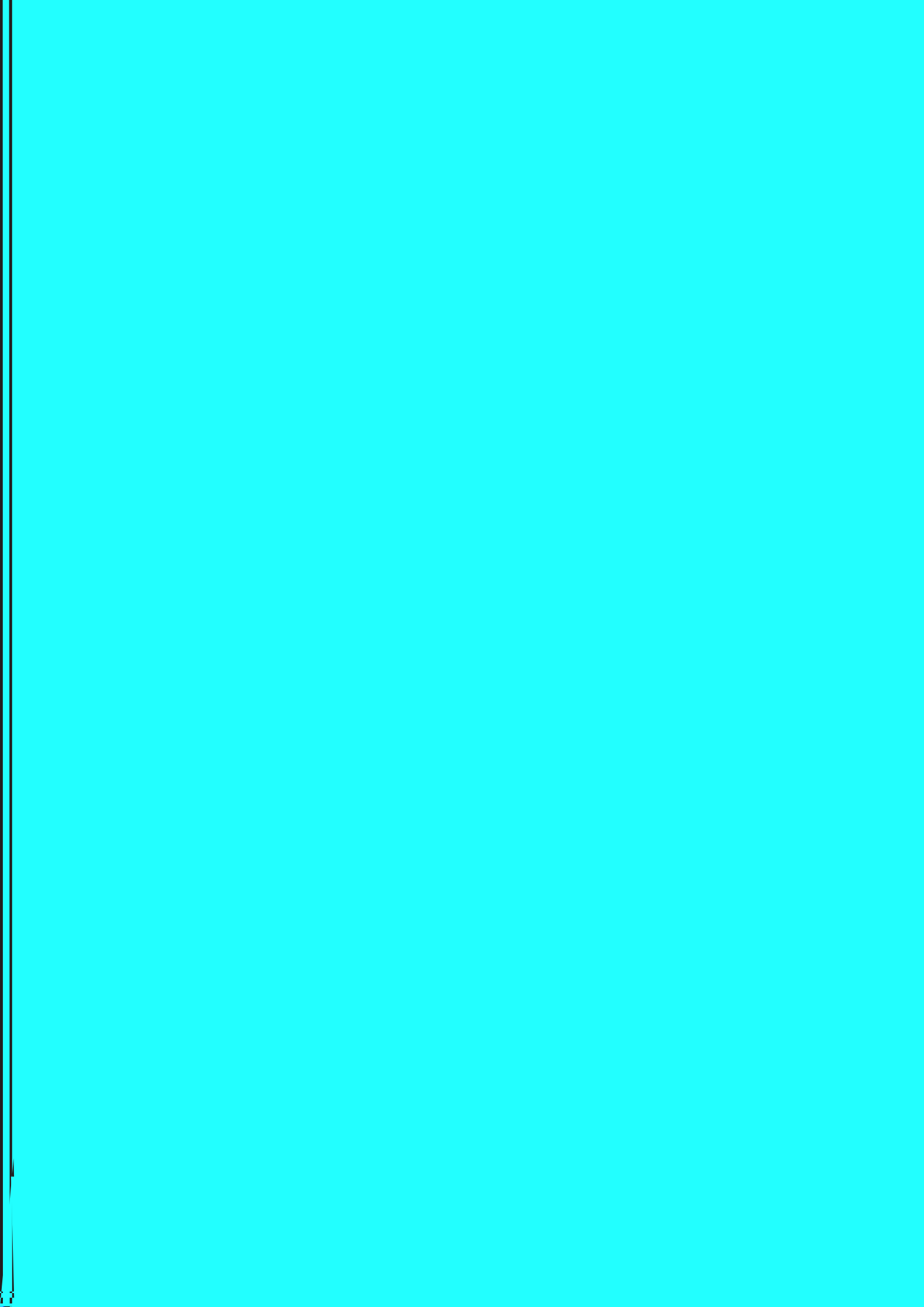
実績（農山漁村振興課調へ）
実績（平成24年特用林産基礎資
源に換算した重量

新実績値

計 平成25







(構造用製材 J A S の認定取得は 5 工場に)

- ・建築物の構造上、主要な部分には、寸法や材質、強度等の品質が明確で、安全性に優れた製材品の使用が求められていることから、構造用製材 J A S*の需要が高まっています。
- ・そのため県では、構造用製材 J A S の認定取得を支援しており、平成 25 年度は福岡市の 1 工場が、新たに人工乾燥構造用製材 J A S の認定を取得しました。
- ・県が公共建築物等の木造・木質化を推進するにあたっては、J A S 製品の供給力を更に高めていく必要があるため、今後も認定取得に対して支援するとともに、引き続き乾燥機や加工施設などの整備も進めていきます。

福岡県内の構造用製材 JAS 認定工場(平成 25 年度末)

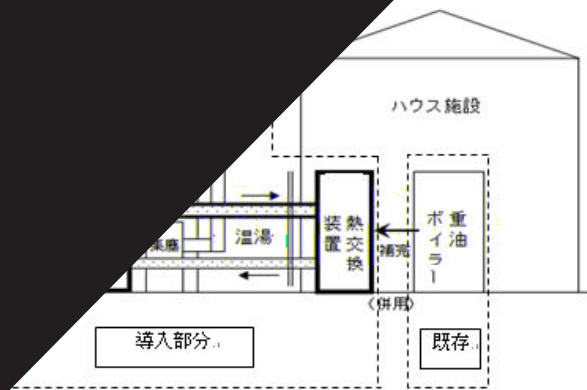
市町村	会社名	認定区分
福岡市	福岡県広域森林組合	人工乾燥構造用製材*
うきは市	(有)東部産業	構造用製材、人工乾燥構造用製材、 機械等級区分構造用製材
	岩佐製材所	構造用製材
	(株)マルジョウ	人工乾燥構造用製材
筑後市	九州木材工業(株)	人工乾燥構造用製材、保存処理構造用製材

*：平成 25 年度新規取得

(注)福岡県八女森林組合は合併に伴い、平成 25 年度に廃止となったが、平成 26 年度に再取得予定。

※ 構造用製材 J A S：農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律に規定する「日本農林規格」に基づき製造・管理された製材品のうち、針葉樹を材料とするものであり、建築物の構造耐力上主要な部分に使用できる品質を有することが認められたもの。

成



導入設備の概要



高性能林業機械を使った
未利用間伐材の搬出作業

(林業経営を担う森林組合職員の人材育成が進む)

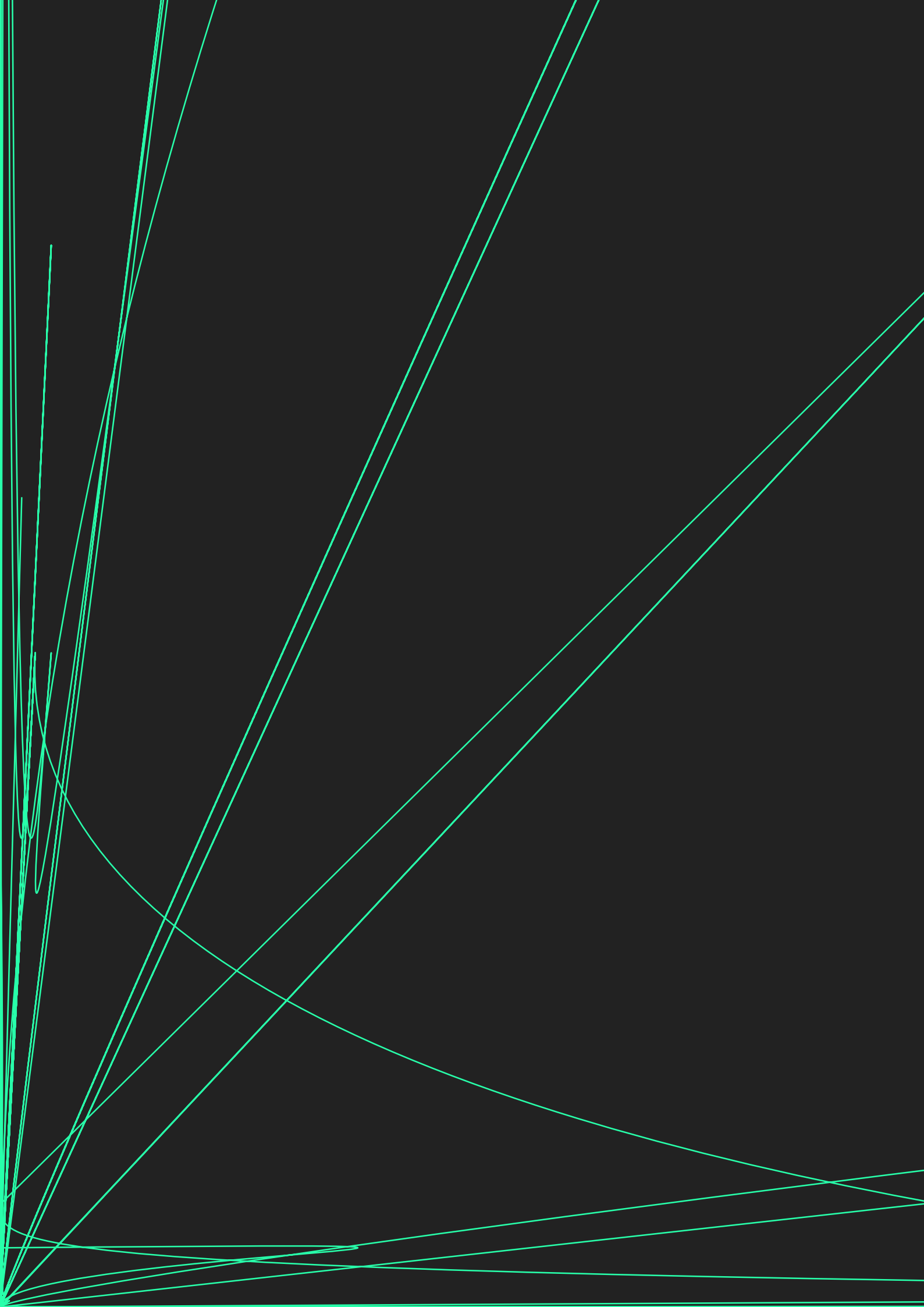
- ・平成 25 年 3 月末現在の県内の組合員数は約 30,000 人で、組合員が所有する森林面積は、本県の森林面積（国有林を除く）の 6 割を占めています。
- ・県では、地域の林業経営の主体となる森林組合に対し、市場動向等に対応した原木の生産ができる人材を育成するための研修や、中小企業診断士による経営指導を行い、経営環境改善に向けた経営方針の作成を支援しました。
- ・また、経営計画の作成や森林作業の集約化など

(3) 林業事業体を支える若者の参入と定着を促進

(新規就業者数は6人増加)

- ・新規林業就業者数は40人で、前年度に比べ6人増加しました。
- ・これは、木材需要の増加などにより、森林組合等の事業体の新規採用が増加したことによるものです。





ハゼを県内5地区で3.8ha 植栽)

国内の「木ろう」生産量の約9割が本県産ですが、原料のハゼ実は約9割が県外産です。

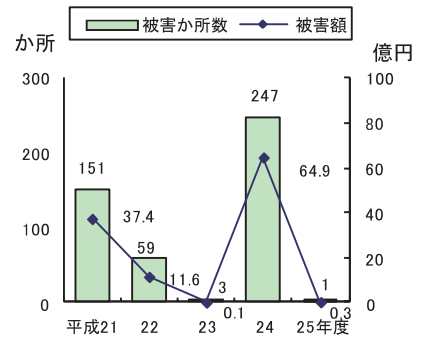
県では、ハゼ実の販売による収入機会の拡大を図るため、ハゼの栽培に取り組む農家に対して支援を行っています。

平成 25

5 森林の持つ公益的機能を計画的に保全

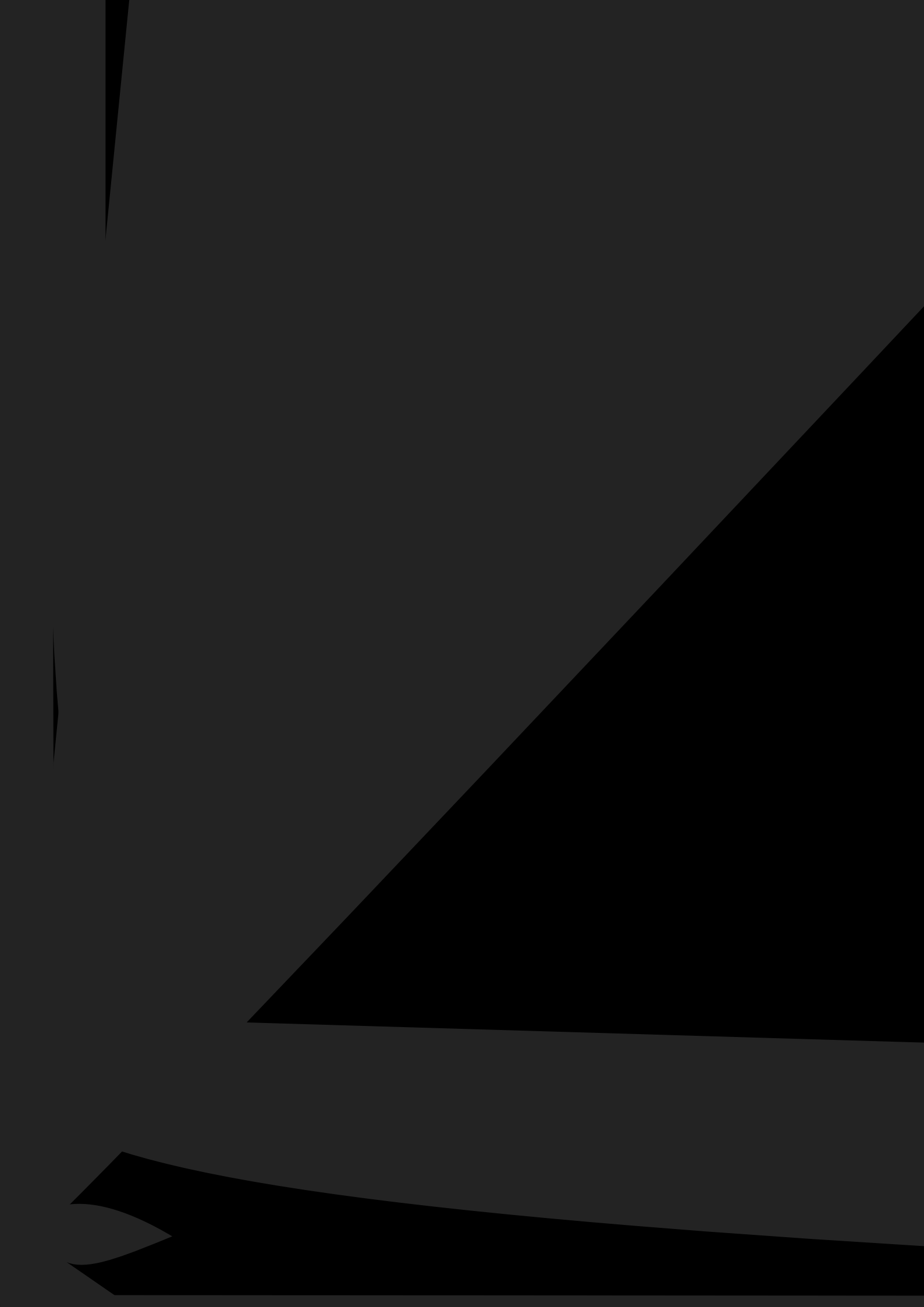
林は計画的な整備で防災機能を強化
(に比べ山地災害が大幅に減少)

25年度の山地災害は、平成25年8月の集中豪



山地災害の推移

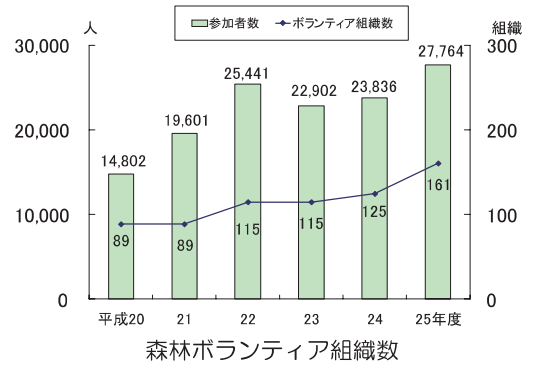
資料：農村森林整備課調べ



(3) 森林・林業に対する県民の理解を促進

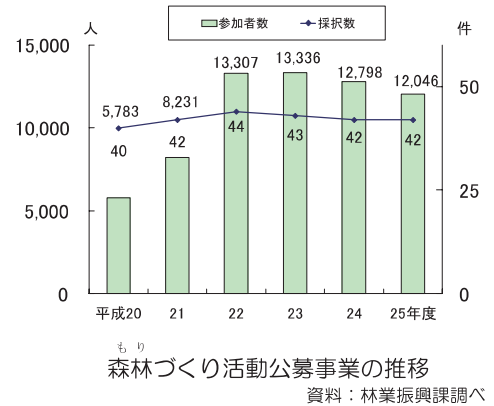
(森林ボランティア組織数は161組織に拡大)

- ・森林環境税を活用した森林づくりに関する情報発信等により、県民の森林づくりに対する気運が高まり、森林ボランティア組織数は、前年度より36組織増加し、161組織となりました。
- ・森林ボランティア組織の増加に伴い、森林ボランティア参加者数は、前年度に比べ3,928人増加し、27,764人となり、県民参加の森林づくりが拡大しています。



(森林づくり活動に延べ65,000人が参加)

- ・森林環境税を活用した森林づくり活動公募事業では、平成25年度までの6年間に253件の活動が採択され、延べ65,000人を超える県民が参加しました。
- ・県では、引き続き、森林を「県民共有の財産」として社会全体で守り育てる気運の向上を図るため、森林環境税を活用して、ボランティア団体やNPO等が実行する「県民参加による森林づくり活動」を推進していきます。



(「ふくおかの森林づくり」を県民に情報発信)

- ・平成25年8月、アクロス福岡（福岡市）において「ふくおかの森林づくり発表会」を開催しました。発表会では、森林環境税を活用した取組状況の報告に加え、ボランティア団体等による森林づくり活動の事例発表やポスターセッションを行いました。
- ・参加した県民の皆さんからは、「県の取組や各団体の活動内容が良く分かった」、「森林ボランティアに参加してみたい」といった感想が寄せられました。
- ・今後もさまざまな機会を通じて、県民参加の森林づくりに関する情報を発信していきます。



多様な森林づくり活動が紹介された
ふくおかの森林づくり発表会

森林づくりの活動事例

○身近な森林を活用した取組（福津市）

福津市では、次世代を担う子どもたちを対象に、森林のはたらきや大切さを学ぶため、下草刈り体験や紙芝居を用いた森林環境教育を行いました。



子どもたちを対象とした森林環境教育



○平成 25 年度に表彰行事で受賞された方々

表彰行事名	部門・賞の名称	市町村名	氏名・団体名
平成25年度全国林業グループコンクール	全国林業改良普及協会賞	添田町	筑豊地区女性林業研究グループ
平成25年度全国山林苗畑品評会	全国山林種苗協同組合連合会長賞	朝倉市	森 茂喜
第38回福岡県竹林品評会	竹林の部 農林水産大臣賞	八女市	山下 裕之
第44回福岡県椎茸品評会	乾椎茸の部		



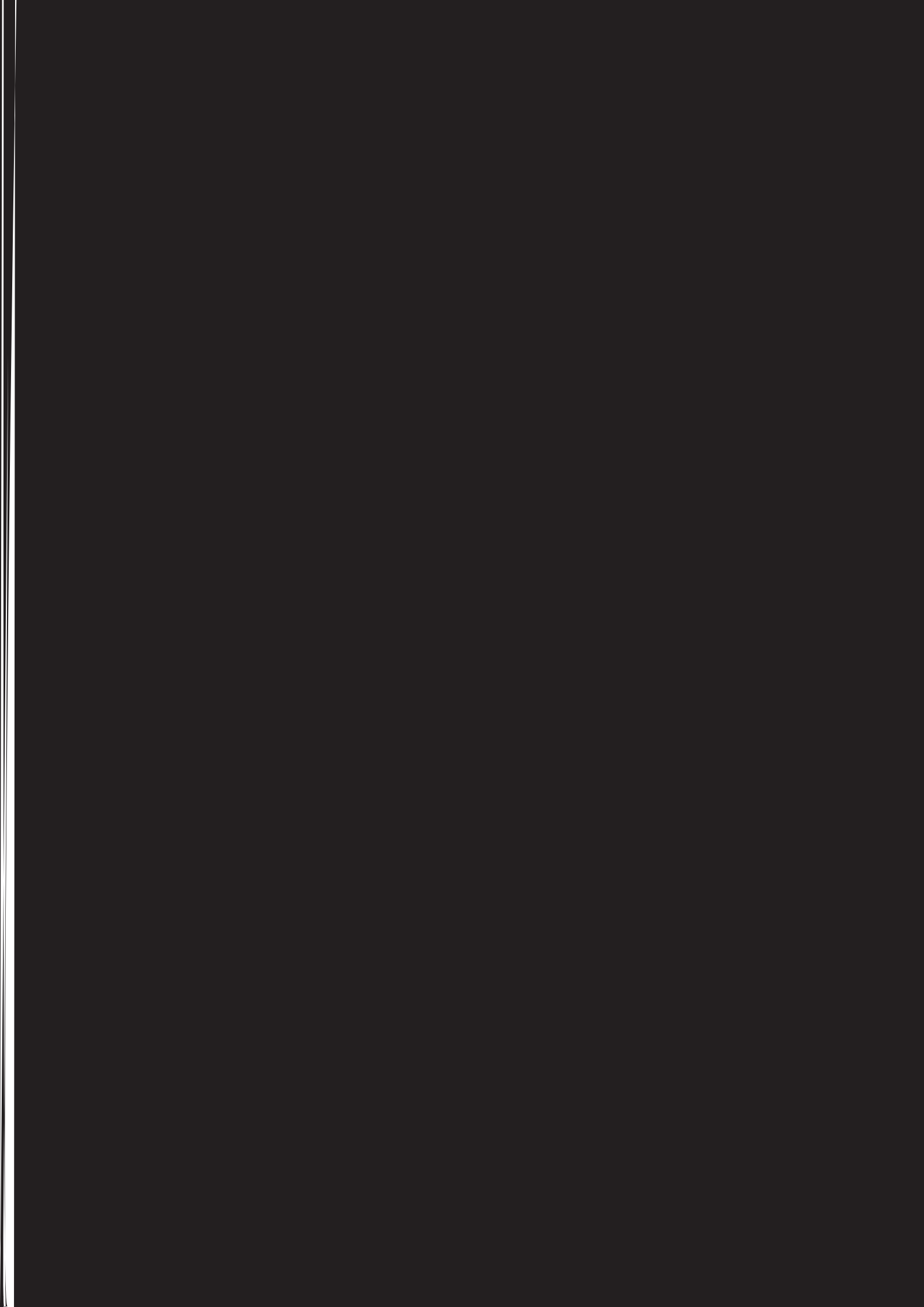
付属統計・資料

目 次

I 森林資源

- ①市町村別の土地利用区分及び森林率
- ②市町村別計画対象森林の状況





平成26年4月1日 現在

				面積	材積	面積	材積	面積	材積
52,372	16,914	6,259	1,645	46,113	15,270	6,270	2,090	39,843	13,180
2,117	516	778	171	1,338	344	75	19	1,263	326

③ 民有林計画対象森林の齢級配置表

単位：面積ha、材積千m³、成長量千m³

区分	齢級											
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
	389	-	-	1,107	-	-	866	140	11	1,953	457	26
	181	-	-	1,209	-	-	1,342	231	16	3,685	812	34
	3	-	-	12	-	-	11	0	0	10	0	0
	1	-	-	5	-	-	4	0	0	2	1	0
	575	-	-	2,333	-	-	2,222	372	27	5,651	1,270	60
	110	-	-	152	1	0	95	2	0	243	6	0
	20	-	-	94	1	0	24	1	0	12	0	0
	95	-	-	706	2	0	540	6	1	569	13	1
	88	-	-	163	1	0	146	2	0	132	3	0
	313	-	-	1,116	5	1	805	10	1	878	10	0

平成26年4月1日 現在
 単位：面積ha、材積千m³、成長量千m³

齢級												
区分	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
	6,219	3,079	66	11,530	6,320	117	14,624	8,706	139	11,370	7,377	101
	6,926	2,403	35	7,995	2,974	40	9,000	3,598	45	5,954	2,583	31
	213	33	1	696	116	2	1,230	203	3	1,071	188	2
	25	4	0	38	8	0	32	8	0	12	5	0
	13,382	5,519	102	20,259	9,419	160	24,887	12,514	187	18,406	10,153	134
	267	24	0	217	21	0	200	20	0	155	17	0
	2	0	0	3	0	0	0	0	-	0	0	-
	2,094	160	2	4,311	345	4	7,471	567	5	8,956	678	3
	56	6	0	60	5	0	61	5	0	48	3	0
	2,418	190	3	4,591	372	4	7,734	592	5	9,160	698	3
	15,801	5,709	105	24,851	9,791	164	32,620	13,106	192	27,566	10,850	136
	111	17	0	512	82	1	745	122	2	554	101	1
	102	16	0	184	33	1	485	81	1	517	87	1

齢級												
区分	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
	12,241	9,098	82	11,261	3,280	112	55,983	34,580	506	67,245	37,859	618
	5,250	2,554	24	19,128	4,746	112	35,106	14,112	176	54,253	18,859	288
	2,077	360	1	182	18	1	5,087	899	8	5,469	918	9
	6	2	0	43	6	0	3	28	0	156	34	1
	19,575	12,015	107	30,614	8,051	225	106,179	53,619	790	187,123	95,661	926

⑦ 保育・森林作業道開設の推移

単位:ha, 路線, m

区分		平成21	22	23	24	25年度
保育	下刈	2,467	2,319	2,108	1,827	1,517
	除伐	(64)	(195)		(112)	(93)
		531	634	709	509	466
	間伐	(134)	(44)	(113)	(32)	(40)
	除間伐計	6,284	6,220	6,182	4,879	4,211
	(197)	(239)	(113)	(144)	(133)	
	6,815	6,854	6,891	5,388	4,677	
更新伐		38	23	41	48	2
森林作業道等	路線数	278	356	207	230	197
	延長	166,965	165,377	142,105	185,219	178,272

注1: 間伐及び除間伐計の上段()書きは、(独)森林総合研究所(旧緑資源機構)分で外数
 注2: 四捨五入の関係により合計と内訳が一致しない場合がある

資料: 林業振興課調べ

区分					
さしすぎ				306	317
みすぎ	138		105	60	
ひのき	431		397	254	
あかまつ			2	7	
くろまつ	17	30	44	16	
くぬぎ	232				295
やしゃぶし			33		
計	1,108	1,161	1,108	961	1,087

注1: 苗畑実態調査による

注2: 四捨五入の関係により合計と内訳が一致しない場合がある

資料: 林業振興課調べ

平成26年4月1日現在

単位:ha

区分	くぬぎ	くろまつ	合計
育種			
普通			

注1: 育種は育種母樹林、普通は普通母樹林

資料: 林業振興課調べ

⑩ 既設林道延長の推移

各年度末現在
単位：延長 m、密度m/ha

区分		平成21	22	23	24	25年度	
民有林面積	(A)	196,844	196,844	194,577	194,577	194,592	
既設林道延長(実績)	(B)	1,924,889	1,934,571	1,945,756	1,955,010	1,962,797	
〃 密度	(B/A)	9.8	9.8	10.0	10.0	10.1	
林道現況延長(認定)	(C)	1,501,541	1,511,303	1,527,512	1,534,507	1,540,376	
〃 密度	(C/A)	7.6	7.7	7.9	7.9	7.9	
種類別林道延長	車道幅員						
	4.0m超	路線数	2	2	2	2	
		延長	9,157	9,157	9,157	9,157	9,157
	自動車道	4.0m	路線数	39	39	39	39
			延長	373,765	381,837	392,159	397,866
	4.0m未満	路線数	709	709	714	711	711
		延長	1,118,619	1,120,309	1,126,196	1,127,484	1,132,853
	小計	路線数	750	750	755	752	752
		延長	1,501,541	1,511,303	1,527,512	1,534,507	1,540,376
	軽車道	路線数	59	59	59	59	59
延長		52,507	52,507	52,507	52,507	52,507	
合計	路線数	809	809	814	811	811	
	延長	1,554,048	1,563,810	1,580,019	1,587,014	1,592,833	
舗装延長	路線数	423	424	430	437	437	
	延長	1,027,586	1,052,159	1,062,771	1,083,512	1,094,298	

注1：既設林道延長は、平成24年度までに開設された車道幅員1.8m以上(自動車道以上)の林道延長であって、用途変更及び認定による林道の増減には関係しない

資料：農村森林整備課調べ

注2：林道現況延長(認定)は、用途変更及び認定による延長の増減をいたものである

注3：既開設林道は、繰越分を含まない

注4：同一路線に2つ以上の幅員がある場合は、起点の幅員に計上している

⑪ 林道事業実績の推移

区分		平成21	22	23	24	25年度
開設	路線数	32	39	33	33	33
	延長	(1,006)	(1,817)	1,711	1,711	1,711
改良	路線数	13,732	13,732	13,732	13,732	13,732
	延長	68	68	68	68	68
舗装	路線数	8,452	8,452	8,452	8,452	8,452
	延長	7	7	7	7	7
災害	路線数	0	0	0	0	0
	延長	0	0	0	0	0
計	路線数	13,764	13,771	13,765	13,765	13,765
	延長	1,006	1,817	1,711	1,711	1,711

(1)	(1)	(1)	(1)
547	548	548	548
(520)	(516)	(596)	(596)
		20,237	20,236
20,321	20,376	20,183	20,176
(0)	(0)	(0)	(0)
104	104	104	104
80	77	(12)	(12)



⑯ 森林被害の推移

単位：松くい虫被害材積 m³、その他の被害数量 ha、被害額 千円

区分			平成21	22	23	24	25年度
害 虫 獣	松くい虫	数量	2,298	3,078	3,907	6,625	4,136
		被害額	13,579	17,766	22,375	37,033	22,748
	シカ	数量	118	113	154	127	97
		被害額	144,359	185,094	244,868	223,957	185,384
	イノシシ	数量	77	82	60	54	43
		被害額	69,174	84,835	45,911	63,188	47,368
	その他	数量	1	1	1	1	1
		被害額	374	455	399	576	768
	計	数量	(2,298) 196	(3,078) 196	(3,907) 215	(6,625) 181	(4,136) 141
		被害額	227,486	288,150	313,554	324,754	256,268
	火災	数量	69.10	0.45	0.65	-	1.81
		被害額	-	81	1,491	-	1,727
気 象 災	干害	数量	-	-	-	-	-
		被害額	-	-	-	-	-
	風水害	数量	-	-	-	-	-
		被害額	-	-	-	-	-
	雪凍霜害	数量	-	-	64.02	-	-
		被害額	-	-	159,569	-	-
計	数量	-	-	64.02	-	-	
	被害額	-	-	159,569	-	-	

注1：害虫獣の数量計欄の上段()書きは、松くい虫、下段は他の害虫獣

注2：四捨五入の関係により合計と内訳が一致しない場合がある

注3：松くい虫による過去最大の被害量は昭和54年度の67,160m³、過去最小の被害量は平成16年度の555m³

注4：平成24年度から松くい虫被害は12月末に取りまとめ

資料：林業振興課調べ

⑰ 松くい虫防除対策の推移

単位: 空中散布・地上散布 ha、樹幹注入 本、伐倒・駆除量 m³

区分		平成21	22	23	24	25年度
予防	特別防除 (空中散布)	21	21	21	19	19
	地上散布	206	195	202	193	201
	樹幹注入	4,929	4,863	8,603	2,055	12,630
駆除	薬剤	326	555	963	488	245
	くん蒸	-	-	-	-	68
	破砕	128	329	1,805	5,092	2,582
	全木焼却	110	370	316	320	178

注1: 自力分を除く

資料: 林業振興課調べ

注2: 四捨五入の関係により合計と内訳が一致しない場合がある

⑱ 森林国営保険の推移

単位: 面積 ha、金額 円、保険料 円

区分			平成21	22	23	24	25年度
保険契約 状況	契約高	件数	526	535	544	458	488
		面積	4,702	4,761	4,668	4,830	4,816
		金額	10,410,147,721	10,703,583,522	10,679,870,250	11,493,423,701	11,317,832,229
		保険料	64,199,921	57,280,932	64,351,298	66,158,765	63,454,698
	保有高	件数	3,319	-	-	-	-
		面積	10,779.89	-	-	-	-
金額		21,334,869,713	-	-	-	-	
保険契約地 損害てん補 実績	火災	件数	-	2	2	-	2
		面積	-	2.70	0.20	-	3.01
		金額	-	783,500	478,000	-	536,450
	風水害	件数	3	46	4	6	47
		面積	0.36	3.75	0.73	0.92	3.83
		金額	29,145,829	5,366,194	1,628,100	980,197	7,243,208
	その他 気象災	件数	7	8	1	13	6
		面積	0.67	0.31	0.07	7.00	1.61
		金額	679,445	301,575	173,040	15,597,940	445,980

注1: 四捨五入の関係により合計と内訳が一致しない場合がある

資料: 林野庁「森林国営保険事業統計表」、林業振興課調べ

⑱ 年齢別... 数の推移

単位：上段(構成比)%

年齢	2	7	12	1
15～20	5	7	7	
20～25	50	66	58	
30～35	8	10	12	
40～45		16	14	
50～55		159	114	
60～65		24	24	
70～75		240	202	
80～85		19	17	
90～95		193	144	
100+		24		
		237		
		100		
		991		

3

5～20

20～50ha

50～100

100+

㉒ 林業機械の保有状況の推移

単位：台

区分		平成21	22	23	24	25年度
索道	重力式	0	1	0	1	1
	動力式	8	6	8	11	16
小型集材機	10馬力未満	28	21	22	24	17
大型集材機	10馬力以上	30	30	34	31	27
林内作業車	20馬力未満	1,060	935	854	801	765
小型運搬車	20馬力以上	18	16	12	10	12
モノレール		8	8	5	4	4
チェーンソー		7,054	7,069	7,001	6,714	6,052
動力枝打機		75	74	63	55	36
刈払機		8,921	8,866	8,559	8,128	7,329
自走式搬機		30	29	34	31	27
高性能 林業機械	タワーヤーダ	3	3	3	2	2
	プロセッサ	12	12	14	13	15
	ハーベスタ	10	11	12	18	18
	フォワーダ	19	24	29	38	44
	スイングヤーダ	4	5	6	6	6
	その他	1	1	0	0	1
	計	49	56	64	77	86

資料：資源活用研究センター調べ

㉓ 林業研究グループの組織状況の推移

単位：人

区分			平成21	22	23	24	25年度
県林研 加入組織	団体数		25	25	24	24	24
	会員数	男	347	348	326	333	332
		女	83	82	82	82	71
		計	430	430	408	415	403
県林研 未加入組織	団体数		5	5	6	6	6
	会員数	男	64	64	89	89	89
		女	14	14	14	14	14
		計	78	78	103	103	103
計	団体数		30	30	30	30	30
	会員数	男	411	412	415	422	421
		女	97	96	96	96	85
		計	508	508	511	518	506

注1：県林研加入組織とは、「福岡県林業研究グループ連合会」加入組織のことをいう

資料：林業振興課調べ

㉔ 労働災害発生の推移

単位：人

区分	平成21	22	23	24	25年
死亡者数	0	1	1	1	0
負傷者数	44	53	46	48	42
計	44	54	47	49	42

注1：負傷とは休業4日以上の怪我

資料：林業振興課調べ



㉔ 森林組合名簿

平成26年4月1日現在

組合名	組合長名	所在地	郵便番号	電話番号 FAX番号	設立年月日	広域組合の地区
福岡県広域	臼井正臣	糟屋郡篠栗町大字篠栗4923-4	811-2405	092-410-1237 092-410-1238	H25.4.1	福岡市、直方市、飯塚市、中間市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、吉賀市、福津市、宮若市、嘉麻市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、桂川町
浮羽	平川光臣	うきは市浮羽町朝田381-5	839-1401	0943-77-2158 0943-77-6017	S26.12.25	久留米市(うち旧久留米市及び旧田主丸町)、うきは市
朝倉	小川稜人	朝倉市甘木2010-3	838-0068	0946-22-4411 0946-22-5442	H19.4.2	朝倉市、筑前町、東峰村
北九州市	坂井準二	北九州市小倉南区堀越350	802-0835	093-962-6078 093-962-6336	S27.6.3	
添田町	重松 修	田川郡添田町大字添田1232-12	824-0602	0947-82-0069 0947-82-0070	S39.3.31	
赤村	中川義央	田川郡赤村大字内田1188(村役場内)	824-0432	0947-62-3000 0947-62-3007	S36.7.15	
福岡県八女	田島 富士雄	八女市山内1060-3	834-0012	0943-23-2112 0943-23-2113	H26.4.1	
京都	田中照磨	京都府みやぎ町	624-0241	0930-42-0037 0930-42-1438	S58.7.14	行橋市、新田町、みやぎ町
豊築	尾家正士	豊前市塔田51	828-0052	0979-82-7529 0979-82-7551	H13.4.1	豊前市、築上町、上毛町

注1：組合名アンダーラインは広域組合

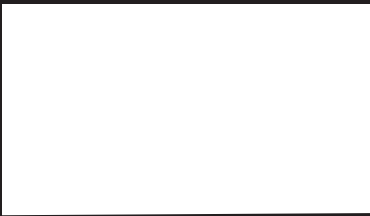
資料：団体指導課調べ

㉕ 作業班の組織状況の推移

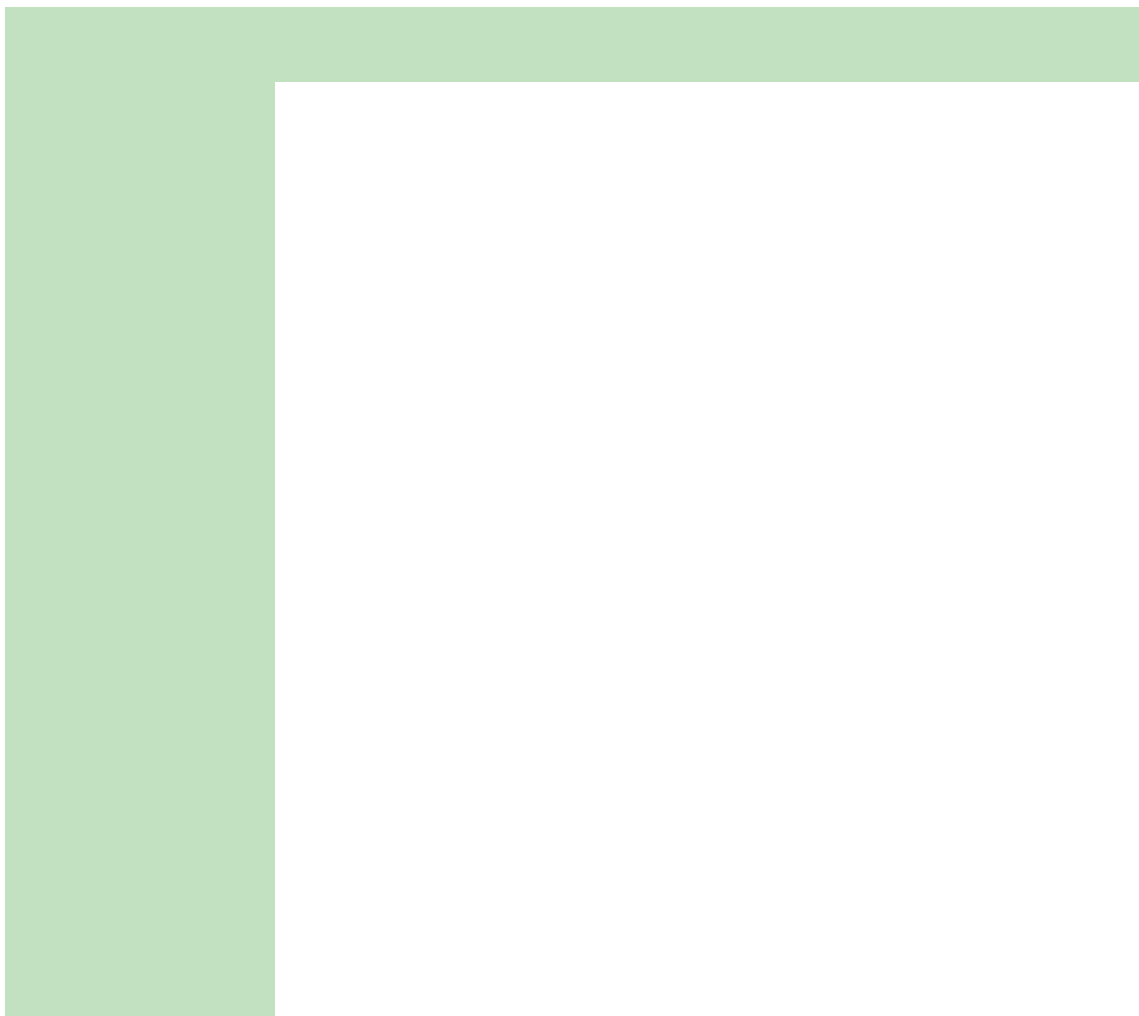
単位：人

区分	平成21	22	23	24	25年
伐出班	38	24	38	49	54
造林班	173	156	167	169	160
その他	61	52	76	59	57
計	272	232	281	277	271

資料：団体指導課調べ



林

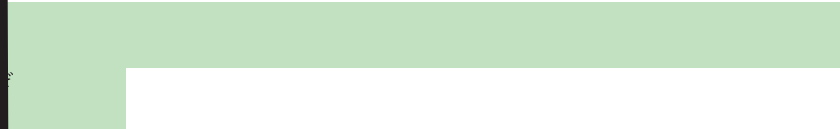


單位：面積 ha,材積 m³



格の推移

単位：円/m³

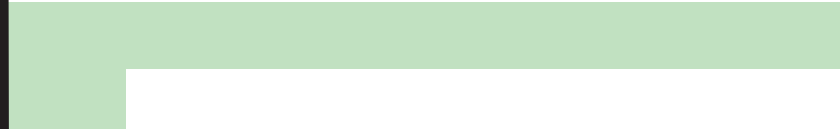


一番高かったのは、昭和55年で20,928円/m³

資料：(財)日本不動産研究所

推移

単位：円/m³

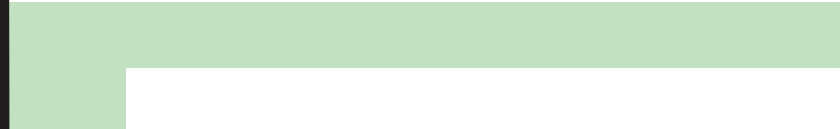


高かったのは、昭和54年で44,800円/m³

資料：県森連浮羽事業所実績値(径18~22cm、4m)

の推移

単位：円/m³



高かったのは、昭和55年で55,600円/m³

資料：農林水産省「木材価格」(正角10.5×10.5、3m)

④① 主要な特用林産物価格の推移

単位：円/kg

区分	平成21	22	23	24	25年
たけのこ(青果用)	382	344	417	367	357
たけのこ(加工用)	116	134	126	83	90
乾しいたけ	4,549	4,316	4,209	3,503	3,233
生しいたけ	742	696		675	625
ぶなしめじ	408			322	368
えのきたけ			239	246	242
まいたけ	670	900	715	701	710
えりんぎ	518	549	494	461	240

資料：農山漁村振興課調べ

④② 規模別製材工場数の推移

単位：工場

区分	平成21	22	23	24	25年
7.5 ～ 22.5kw	41	25	21	20	21
22.5 ～ 37.5kw	32	41	40	43	38
37.5 ～ 75.0kw			45	42	45
75.0 ～ 150.0kw			19	18	19
150.0 ～ 300.0kw	14	13	13	13	11
300.0kw以上	10	8	8	9	9
計	168	159	146	145	143

※製材工場数が一番多かったのは、昭和43年で608工場

資料：農林水産省「木材統計」

④③ 原木需要量の推移

単位：千m³

区分	平成21	22	23	24	25年
県産材	82	91	80	86	101
他県産材	216	213	260	274	312
米材	42	50	37	31	26
南洋材	8	2	5	1	1
外 北洋材	26	5	3	3	x
材 NZ材	1	1	1	1	x
その他	7	3	3	6	2
小計	84	61	49	42	33
計	382	365	389	402	446

※原木需要量が一番大きかったのは、昭和48年で2,432千m³

資料：農林水産省「木材統計」

④④ 製材品出荷量の推移

単位：千m³

区分	平成21	22	23	24	25年
建築用材	200	163	164	173	206
土木建設用材	11	14	10	11	11
家具・建具用材	9	11	3	7	7
その他	7	5	6	4	1
計	227	193	183	195	225

※製材品出荷量が一番大きかったのは、昭和51年で1,244千m³

資料：農林水産省「木材統計」

木質バイオマスの発生量と利用量の推移



木質チップ生産量の推移



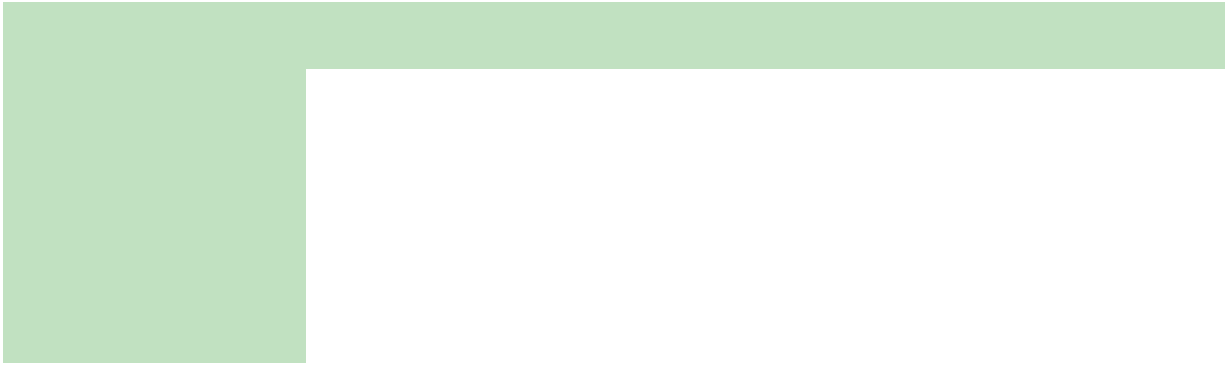
日本政策金融公庫融資状況の推移



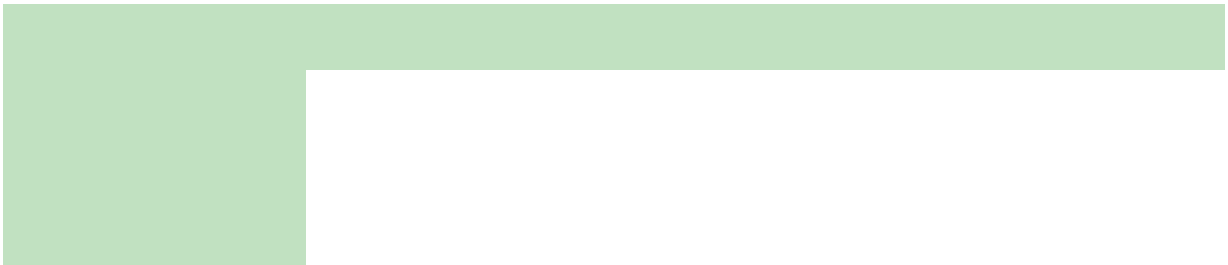
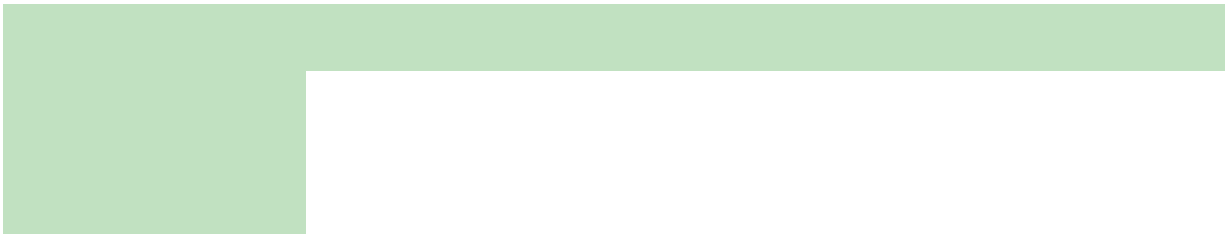
林業・木材産業改善管



木材産業等高度化推進資金融資状況の推移



農林漁業信用基金債務保証の推移（





新

出

700

100

600

⑤⑦ 林地開発許可処分の推移

単位：件、ha

	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	面積
うち再生可能エネルギー発電設備			(3)	(11)	(3)	(3)	(1)	(5)	(25)
	1	1	5	10	6	4	6	9	39
	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
					(1)	(2)	(1)	(3)	(8)
	2	1	1	0	1	2	2	3	1
									(3)
									4
									(1)
									1
							(1)	(5)	(4)
		2	2	1	0	2	6	4	
(2)	(4)	(7)	(121)	(6)	(14)	(3)	(10)	(2)	
16	21	19	127	17	25	20	24	12	
(1)	(8)							116	
2	8	1	9			2	3		
(1)	(3)							(3)	
1	3	1	1	1	1	1	2	3	
(4)	(15)	(10)	(132)	(10)	(19)	(6)	(23)	(12)	
22	34	29	149	26	32	33	47	26	
								173	

注1：()は内数で新規許可件数及び面積

資料：農山漁村振興課調べ

⑤⑧ 人口と高齢者率の推移

単位：千人、%

--	--	--	--	--	--	--	--

資料：国勢調査

⑤⑨ 振興山村の概要

平成26年3月31日現在

- 福岡市	46	54	-	-
筑紫 那珂川町	46	51	57	3
	46	52	58	6
	44	-	61	9
- うきは市	46	51	57	5
朝倉 東峰村	42	48	56	4
- 宮若市	45	54	59	-
田川 添田町	46	-	-	-
	44	50	57	7
	42	49	54	9
	40	47	55	4
	41	48	56	3
- 豊前市	45	52	58	6
京都 みやこ町	43	53	60	7
築上町	45	50	56	5
上毛町	43	49	55	3
12市町村				

資料：農山漁村振興課調べ

福岡県森林・林業の動向
— 平成 25 年度 林業白書 —

発行日	平成 26 年 7 月
編集発行者	福岡県
連絡先	福岡県農林水産部 農林水産政策課企画係
T E L	092-651-1111（代表） 092-643-3468（直通）



福岡県行政資料	
分類記号 P F	所属コード 4700103
登録年度 26	登録番号